

※本学図書館で所蔵している本は書名に赤線を引いています。資料ID番号で検索すると利用状況がわかります。

【音楽学部 演奏学科】

1

- (1) 書名 弟子から見たショパン：そのピアノ教育法と演奏美学
- (2) 著者名 ジャン＝ジャック・エーゲルディング著 米谷治郎・中島弘二訳
- (3) 出版社名 音楽之友社
- (4) 配架場所 7階開架閲覧室
- (5) 請求記号 762.349/C53 (資料ID 12558759)
- (6) 推薦コメント

ショパンは、多くの弟子をとり、ピアノ教育に情熱を傾けていたことはあまり知られていない。しばしば、自作をレッスンに用いていたが その中の記述を読むと、自分自身がショパンに直接レッスンを受けているような気になっていく魅力ある書物であり、音楽学生に一読してもらいたい本である。また、ショパンがピアノの練習教本構想をスケッチしているのも興味深い。

2

入荷しました

- (1) 書名 齋藤秀雄講義録
- (2) 著者名 齋藤秀雄
- (3) 出版社名 白水社
- (4) 配架場所 7階開架閲覧室
- (5) 請求記号 761/Sa25
- (6) 推薦コメント

数多くの器楽奏者、弦楽器奏者を育成してきた齋藤秀雄教授の長年の演奏解釈講義録です。指揮者としての知見と、合奏教育における様々な経験をもとに書かれた演奏法の講義録として音楽学生、特に演奏を志す学生に一読してもらいたいと思います。ここには演奏法の基礎が細かく述べられており、音楽をどのように表出していかなければならぬのかということが学生達にも分かるように述べられています。

3

入荷しました

- (1) 書名 武満徹・音楽創造への旅
- (2) 著者名 立花隆
- (3) 出版社名 文藝春秋

※本学図書館で所蔵している本は書名に赤線を引いています。資料ID番号で検索すると利用状況がわかります。

(4) 配架場所 7階開架閲覧室

(5) 請求記号 762.1/Ta63

(6) 推薦コメント

日本を代表する作曲家、武満徹。筆者の立花隆が、人生を懸けて取り組んだ膨大なインタビューを通して、日本の芸術音楽をリードした作曲家の創作の裏側に迫ります。夏休みのひととき、武満徹の音楽とともに手にしてほしい一冊です。